

指定ごみ袋制度の 見直しについて



令和4年6月

草津市 環境経済部 資源循環推進課

国の基本的な方向性

国は、大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会のあり方や国民のライフスタイルを見直し、循環型社会への転換を図るため、**まず、できる限り廃棄物の排出を抑制し、次に廃棄物となったものについては、再使用、再生利用、熱回収の順にできる限り循環的な利用**を行うという基本的な方向性を示されています。

「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針」より抜粋

国の動向

- ・ 2 R（リデュース・リユース）に向けた取組の強化
- ・ 廃プラスチックの処理
- ・ 食品廃棄物（食品ロス）の削減
- ・ 2050年カーボンニュートラル宣言への対応

国の方針

- ・ ごみの排出量に応じた負担の公平化

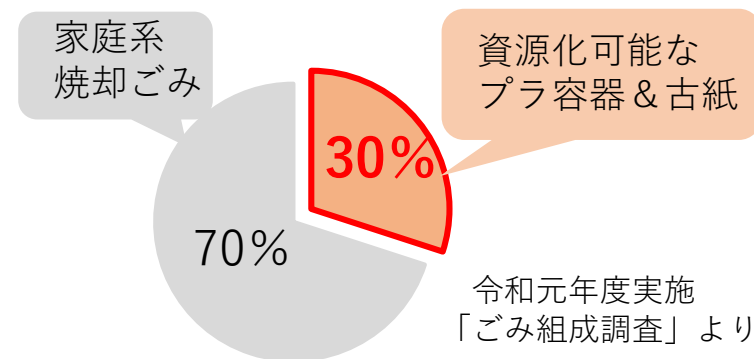
草津市における課題

①ごみの発生抑制に向けた取組が必要

家庭系焼却ごみの中に**食品ロス**が**約10%**含まれています。

②分別の徹底による資源化が必要

家庭系焼却ごみの中に資源化可能なプラスチック製容器類および古紙類が合計で**約30%**含まれています。



③最終処分場の延命に向けたごみの減量が必要

本市で発生するごみの最終処分先である大阪湾フェニックスの**処分場は有限**です。

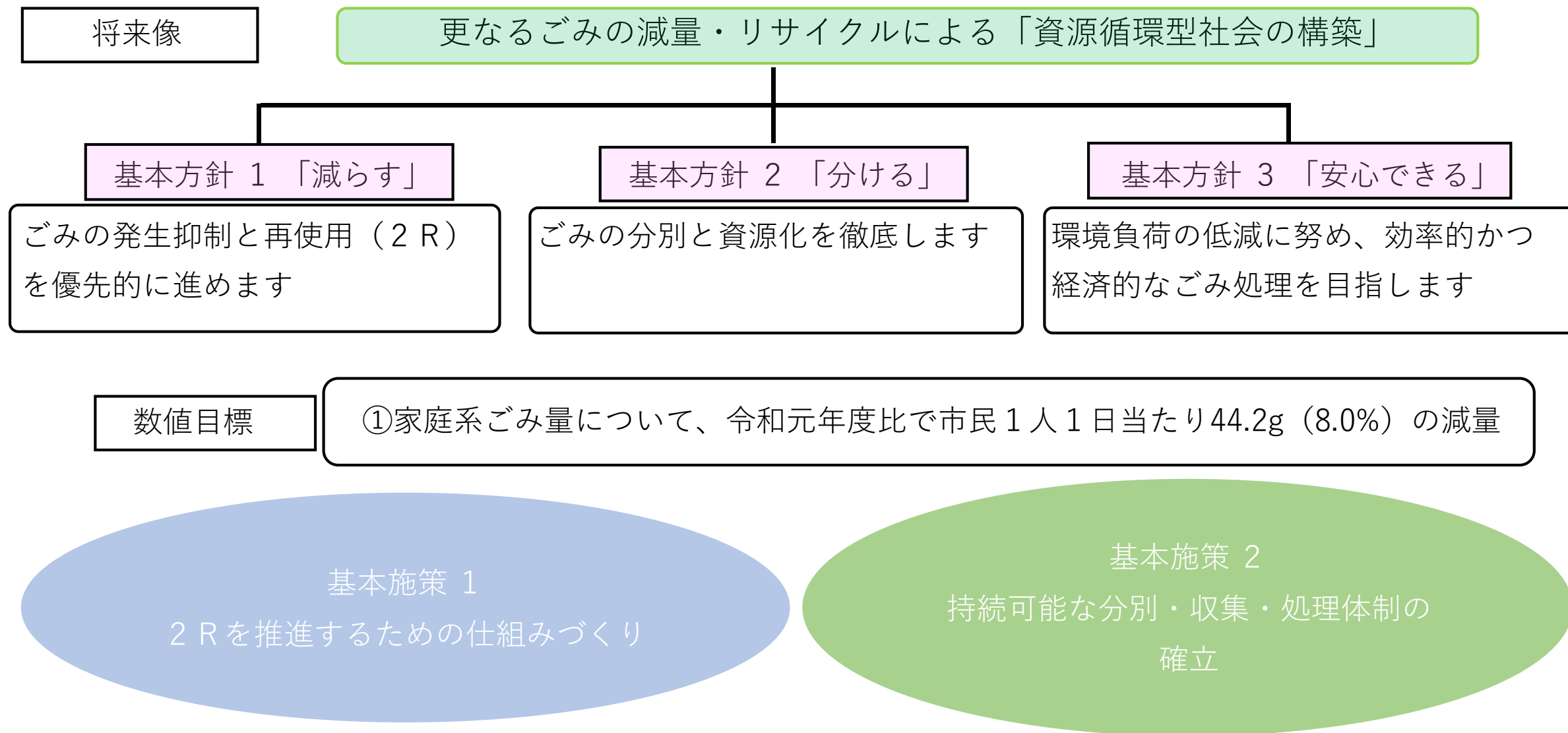


大阪湾フェニックス（神戸沖埋立処分場）

④カーボンニュートラルに向けた取組が必要

脱炭素社会の実現を目指して、**温室効果ガスの排出削減**に向けた取組が必要です。

市ごみ処理基本計画の体系



草津市における取組の方向性

これまでの本市の主な取組

発生抑制・減量化に関する取組	・マイバックの利用促進や過剰包装の啓発 ・3ない運動（買いすぎない、作りすぎない、食べ残さない）の推進 ・生ごみ処理容器購入費補助金制度の開始 ・「ごみ問題を考える草津市民会議」との連携による減量啓発
資源化に関する取組	・古紙の行政回収の開始 ・プラスチック製容器類の分別収集の開始 ・町内会や子ども会など各種団体が実施する資源回収活動の促進 ・ごみに関する情報を集約した「ごみ分別アプリ」の配信 ・「ごみ問題を考える草津市民会議」との連携によるリサイクル啓発

今後の本市の取組

2Rを推進するための仕組みづくり	・焼却ごみ類指定袋の有料購入の検討 ・リユース市場の拡大促進 ・事業系ごみ処理手数料の見直し ・雑紙の分別周知
持続可能な分別・収集・処理体制の確立	・市民に分かりやすいごみ分別 ・収集日の統合による効率的な収集 ・高齢者等ごみ出し支援の検討

国が示す**有料化の類型**

手法	超過従量制（無料分あり）	単純従量制（無料分なし）	袋代のみ(無料分なし)
仕組み	排出量が一定量となるまでは手数料が無料であり、一定量を超えると、排出量に応じて手数料を負担する方式。	排出量に応じて、排出者が手数料を負担する方式で、ごみ処理費用の一部を含むもの。 減量効果は12%～20%程度。	排出量に応じて、排出者が手数料を負担する方式で、袋代の実費相当を負担するもの。 減量効果は4%～6%程度。
グラフ	経済的負担 本市は135枚 まで無料 (超過する場合は 1枚110円) 排出量	経済的負担 1枚40円程度 排出量	経済的負担 1枚10～15円程度 排出量
全国	本市含む25市	446市	344市
県内	草津	長浜、守山、栗東、甲賀、 野洲、湖南、米原	大津、彦根、高島、 近江八幡、東近江

見直し手法の比較検討 1 / 3

	現在の制度	焼却ごみは袋代のみの有料購入 ・資源ごみ袋は無料配付 (焼却ごみ袋のみ有料案)	焼却ごみ・資源ごみともに 袋代金のみの有料購入 (完全有料化案)
無料袋数	135枚	40枚	なし
料金体系	焼却ごみ、プラスチック、ペットボトルの3種類の指定袋について、年間135枚分を無料配付 超過した場合、1枚110円で購入	焼却ごみ袋は1枚5円~15円程度で購入し、プラスチックとペットボトルの指定袋は年間40枚分を無料配付する案	焼却ごみ、プラスチック、ペットボトルの指定袋を1枚5円~15円程度で購入する案



見直し手法の比較検討 2 / 3

	現在の制度	焼却ごみ袋のみ有料案	完全有料化案
減量	経済的負担が生じないよう、排出量を無料分で収めるために、減量インセンティブが期待できますが、無料の範囲内で収まる場合、それ以上の減量インセンティブが働きにくい。	焼却ごみについて、排出量に応じた経済的負担が生じるため、 1枚目から減量インセンティブが期待 できます。	焼却ごみ、プラスチックとペットボトルについて、排出量に応じた経済的負担が生じるため、 1枚目から減量インセンティブが期待 できます。
分別	無料分に焼却ごみと資源ごみの差がないため、分別インセンティブが働きにくい。	プラスチックとペットボトルが無料で出せるため、分別が期待 できます。	無料分の廃止による若干の効果は期待できるが、焼却ごみと資源ごみの代金に差がなく、大きな効果は期待できない。
コミュニティ	ごみ袋引換券を町内会を通じて無料配付することにより、地域コミュニティの支援に繋がります。	町内会を通じた引換券の配付を継続することにより、 地域コミュニティの支援に繋がります 。	町内会を通じた引換券の配付がなくなることにより、 地域コミュニティの希薄化が懸念 されます。

見直し手法の比較検討 3 / 3

	現在の制度	焼却ごみ袋のみ有料案	完全有料化案
市民の経済負担		1,210円／年・世帯	1,920円／年・世帯

■歳入・歳出の見込み

	現在の制度	焼却ごみ袋のみ有料案	完全有料化案
歳入	26百万円	79百万円	114百万円
歳出	67百万円	76百万円	72百万円
差引	▲41百万円	3百万円	42百万円

※ 令和2年度決算ベースによる概算額

県内他市におけるごみ袋の状況等

■県内他市の状況（焼却ごみ袋）

市名	有料化方式	実施年	サイズ	袋方式の形状・手数料額（円／枚）												
				12 L	15 L	20 L	22 L	22.5 L	25 L	26 L	30 L	40 L	42 L	45 L	45.5 L	60 L
草津	超過従量制		1 種									110				
大津	袋代のみの 有料化		3 種			7					10			15		
近江八幡			2 種						5					8.3		
東近江			2 種					5.4							8.1	
彦根			4 種	8			10				11	13				
高島			2 種								6					10
栗東	単純従量制 (処理費用 含む)	H22	3 種		20						35			50		
守山		H21	3 種		15						30			45		
野洲		H14	3 種		17					30			48			
長浜、米原		H20	3 種			20					30			45		
甲賀、湖南		S61	2 種								18			25		

新ごみ袋制度の見直し案

現行制度

焼却 ごみ	【容量】 40L	
----------	-------------	---

プラス チック 製容器	【容量】 60L	
-------------------	-------------	--

ペット ボトル	【容量】 60L	
------------	-------------	---

【手数料】

1世帯につき、
年間**135枚**
まで**無料**

超過した場合、
1枚**110円**
で購入

袋代のみの有料化

一定枚数無料

新制度（案）

焼却 ごみ	【容量】 45L 30L 15L
----------	---------------------------

【手数料】

1枚**15円**

1枚**10円**

1枚 **5円**

プラス チック 製容器	【容量】 60L
-------------------	-------------

【手数料】

1世帯につき、年間
40枚まで**無料**

超過した場合、
焼却ごみ袋と同じ
価格で**購入**

ペット ボトル	【容量】 60L
------------	-------------

今後のスケジュール（案）

令和4年
3月

第3次一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 策定

令和4年
5月～10月

見直し案に関する説明・意見聴取
（市議会、ごみ問題を考える草津市民会議、廃棄物減量等推進審議会）

令和4年
12月

手数料条例

令和5年
3月

令和5年度当初予算

令和5年
10月～

新制度開始